

教科	理科	観点	① 知識・技能	
学年	2年生		② 思考・判断・表現	
授業形態	一斉		③ 主体的に学習に取り組む態度	
教科目標	生徒の学ぶ意欲がわき、主体的に取り組める授業づくり めあてと振り返りの徹底と、授業の流れの見える化と協働的な学びの意識化			
学期	単元名	学習内容	目標到達のめやす	評価する観点
1学期	生物の体のつくりとはたらき	生物の体をつくるもの	単細胞生物と多細胞生物、植物細胞と動物細胞の共通点や相違点を説明できる。	①②③
	生物の体のつくりとはたらき	植物の体のつくりとはたらき	光合成のしくみを、原料・生成物・利用するエネルギーに分けて理解し、結果に関連付けて説明できる。	①②③
	生物の体のつくりとはたらき	動物の体のつくりとはたらき	動物の生命を維持するしくみについて、血液循環と消化・吸収、呼吸、排出のはたらきを関連付けて考えることができる。	①②③
	生物の体のつくりとはたらき	動物の行動のしくみ	中枢神経と末梢神経、感覚器官の関係と刺激が伝わるしくみについて説明できる。	①②③
	地球の大気と天気の変化	地球をとり巻く大気の様子	天気と気圧、気温、湿度の関係を理解している。	①②③
	地球の大気と天気の変化	大気中の水の変化	空気中に水滴が現れるしくみと関連付けて、露点と水蒸気量が対応していることを理解し、実験結果と照らし合わせて理解を深めることができる。	①②③
2学期	地球の大気と天気の変化	天気の変化と大気の動き	天気図と観測データを関連付けて、前線付近の大気の動きを推測しながら天気の変化を説明できる。	①②③
	地球の大気と天気の変化	大気の動きと日本の四季	日本の四季の天気の特徴について根拠を持って説明できる。	①②③
	化学変化と原子・分子	物質の成り立ち	炭酸水素ナトリウムの熱分解や水の電気分解の実験内容を理解している。	①②③
	化学変化と原子・分子	物質の表し方	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けて考え化学反応式をつくることができる。	①②③
	化学変化と原子・分子	さまざまな化学変化	酸化還元反応や化学変化による熱の出入りについて説明できる。	①②③
3学期	化学変化と原子・分子	化学変化と物質の質量	化学変化における質量の変化を理解し、グラフをもとに値を推定することができる。	①②③
	電流とその利用	電流の性質	回路をつくるのに必要な器具の特徴を理解し、きまりにしたがって実験や計算ができる。	①②③
	電流とその利用	電流の正体	電流や放射線の実体について説明できる。	①②③
	電流とその利用	電流と磁界	電流と磁界と力の関係を理解し、発電機やモーターのしくみを説明できる。	①②③

◎評価の方法

課題や提出物、定期テスト、実力テスト等

◎学習のポイント（学習の進め方について）

①予習復習をしっかりと行い、知識を定着させる。②なぜ？どうして？と積極的に疑問を持ち、自らすすんで調べたり先生に質問をする。③課題や提出物に積極的に取り組む。